



mixi

SNS 『mixi』 Logo Manual

2016.11

SNS『mixi』ロゴ利用について①

本ガイドラインは、ロゴの基本的な利用方法を示し、サービス、広告等で利用する際に、一定の質とイメージを保つことができるよう制作いたしております。

本ガイドラインの利用により、SNS『mixi』に対する視覚的イメージが統一され、総合的なイメージ・ブランドが確立させることを目的としています。

本ガイドラインは、ロゴを利用する際の基本的な規定を示したものであり、創造的な発想や展開を規定するものではありません。実際のロゴの利用時に、ガイドラインに該当するか否かの判断に迷うような事例が出てきた折には、当社担当者に連絡、ご相談ください。当社ロゴガイドライン担当部署より担当者経由で、必要な協力、助言を実施いたします。

当社が、本ロゴガイドラインに基づきクリエイティブチェックを実施し、クリエイティブの修正が必要であるという状況が発生した結果、修正をお願いする場合がございますが、予めご了承ください。

今後、SNS『mixi』のより良いイメージ、ブランドを築いていくために、本ガイドラインの正しい理解、及び有効活用をよろしくお願いします。

株式会社ミクシィ

SNS『mixi』ロゴ利用について②

■ SNS『mixi』の表記について

サービス名称『mixi』の正式表記は、mixiです。半角英字（小文字）で記載ください。サービス名のカタカナ記載は誤りです。

■ ロゴタイプ

SNS『mixi』について、サービス、広告などあらゆる視覚的コミュニケーションに関わる全般に可能な限り、ロゴタイプを利用します。

The image shows the word "mixi" in a dark grey, lowercase, sans-serif font. The dot above the 'i' is a solid grey circle, and the dot above the final 'i' is a solid brown circle.

■ シンボルロゴ

SNS『mixi』アプリを表す場合、及びサイズや形式の制限によりロゴタイプを使用できない場合、シンボルロゴを利用します。



基本カラー

色彩の面から『mixi』のイメージを伝えます。

メインカラーはPrimary ColorとBasic Color 1.2です。ロゴの基本的な表示色として、またデザインアイテムの基調色・アクセント色として繰り返し使用・展開することで、カラーイメージが形成され、より強くイメージを伝えます。

印刷時の注意点:

規定された色指定でも、紙質や素材、印刷会社により色が違って見えることがあります。同じくプロセス印刷の場合でも様々な要因(紙質など)で色味が安定しません。ですから、どのような印刷方法でも、Primary Colorの最終の刷り上りが常にPrimary Colorに限りなく近づくように、その都度、印刷会社に調整していただき、正しい色味で表現します。

■ カラー規定

ロゴを掲載するにあたっては、特別な場合を除いて、下記の基本カラーを使用します。



カラー再現時の
シンボルロゴの中の『m』は
白を使用します。
(単色再現時をのぞく)



カラー再現

RGBの場合

CMYKの場合

DICの場合

Primary Color	#d1ad5a	C25 M35 Y70	DIC-335
Basic Color1	#bfbfbf	K35	DIC-650
Basic Color2	#4d4d4d	C15 M10 Y10 K80	DIC-514
Sub Color	#e0c074	C17 M27 Y60	DIC-506

※Sub Colorはロゴマークには使用不可。『mixi』ブランドを効果的に表現するものとして表現するカラーです。

■ モノトーン(無彩色)規定

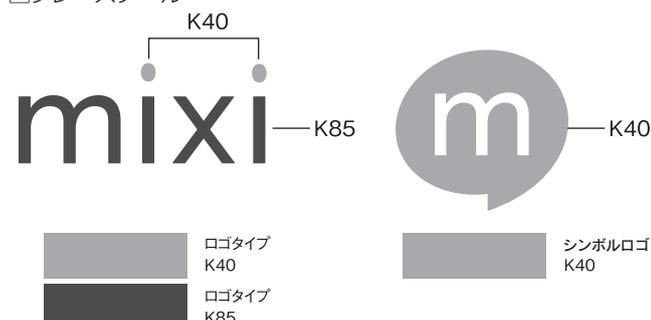
新聞などカラーが使用できない場合はモノトーンで再現します。

ロゴを掲載するにあたっては、特別な場合を除いて、下記の基本カラーを使用します。



モノトーン再現時の
シンボルロゴの中の『m』は
ヌキを使用します。

□グレースケール



□モノクロ(反転含む)



●背景色の濃度が30%までの場合

●背景色の濃度が30%以上の場合

●グレースケールが利用できない場合

※背景色の濃度によるロゴ規定色の変更は、P04をご確認ください。

背景色コントロール

ロゴタイプは、白の背景色にメインカラー（ポジ表現）で表示することを原則とします。ただし、展開物の特製、色数の制限のあるもの、また最初から背景（写真や図柄も含む）が決まっているようなやむを得ない場合は、下表を参照し、ロゴのイメージを損なうことなく、常に識別できるようにします。

ここでは、ロゴタイプを例に図示していますが、他のバージョンの場合も同様です。

下表は目安です。識別性を優先して、ロゴの表示色を選択します。



mixiロゴの表示色 →		モノトーン（無彩色）再現				※他のバージョンも同様
		メインカラー（ポジ表現）	白	黒・グレー	金	
背景色 ↓	白					
	※1 薄い背景色 （濃度10～30%）					
	中間濃度の背景色 （濃度40～60%）					
	濃い背景色 （濃度70～90%）					
	黒					
	Primary Color					
	金					
	銀					

※1 無彩色を例にしていますが、有彩色（暖色系や寒色系など）の場合は、下表「有彩色への展開例」も合わせて参考に表示してください。

※2 ロゴと背景を異なった素材（処理）で表示した場合にのみ表示可能です。

背景色の濃度 →		※他のバージョンも同様				
		10%～30%	40～50%	60～70%	80～90%	100%
背景色 ↓	Primary Color					
	ブルー系					
	グリーン系					
	ピンク系					
	パープル系					
	イエロー系					
	レッド系					
	黒					

背景色とPrimary Colorとの差が接近して識別が困難な背景色への展開はしないでください。

背景色コントロール

シンボルロゴは、白の背景色にメインカラー(ポジ表現)で表示することを原則とします。ただし、展開物の特製、色数の制限のあるもの、また最初から背景(写真や図柄も含む)が決まっているようなやむを得ない場合は、下表を参照し、ロゴのイメージを損なうことなく、常に識別できるようにします。

ここでは、シンボルロゴを例に図示していますが、他のバージョンの場合も同様です。下表は目安です。識別性を優先して、ロゴの表示色を選択します。



背景色		mixiロゴの表示色 →				
		メインカラー(ポジ表現)	モトーン(無彩色)再現			※他のバージョンも同様
			白	黒・グレー	金	銀
※1	白					
	薄い背景色 (濃度10～30%)					
	中間濃度の背景色 (濃度40～60%)					
	濃い背景色 (濃度70～90%)					
	黒					
	Primary Color					
	金					
	銀					

※1 無彩色を例にしていますが、有彩色(暖色系や寒色系など)の場合は、下表「有彩色への展開例」も合わせて参考に表示してください。

※2 ロゴと背景を異なった素材(処理)で表示した場合にのみ表示可能です。

背景色		背景色の濃度 →				
		10%～30%	40～50%	60～70%	80～90%	100%
※1	Primary Color					
	ブルー系					
	グリーン系					
	ピンク系					
	パープル系					
	イエロー系					
	レッド系					
	黒					

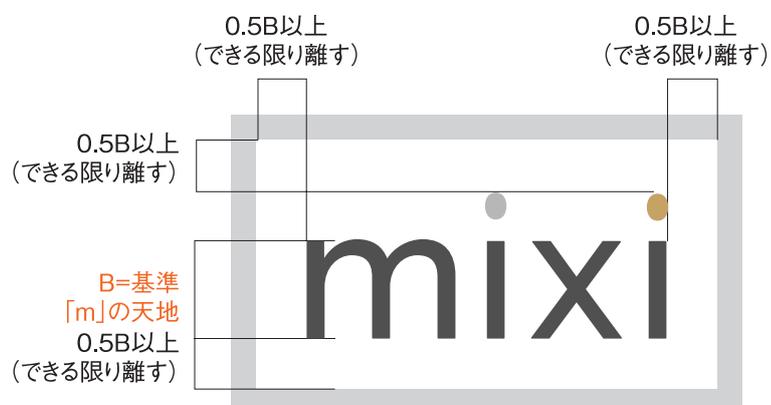
背景色とmixiオレンジとの差が接近して識別が困難な背景色への展開はしないでください。

アイソレーション(不可侵領域)

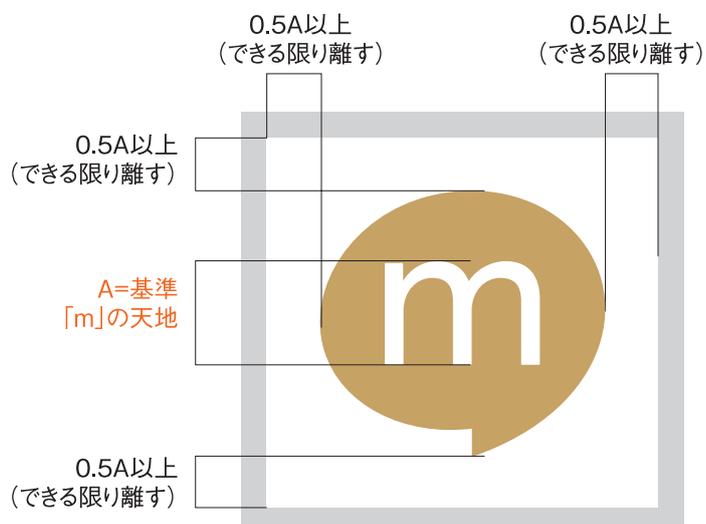
アイソレーション(不可侵領域)規定とは、ロゴの独立性と視認性を確保するため、他の表示要素との間に十分なスペースを設けることです。白地のエリアで示した基準は、ロゴと他の要素との最小の間隔を示したものです。

なお、アイソレーション範囲外であってもロゴの近くに大きな文字・個性の強い文字・図形などの表示は、できるかぎり避けてください。

■ アイソレーション範囲…ロゴタイプ



■ アイソレーション範囲…シンボルロゴ



使用禁止例_01

ロゴタイプやシンボルロゴは、正しく使用されることではじめて、本来の機能を十分に発揮することができます。各デザイン要素の誤った使用は、意図した狙いとは異なったイメージを見る人に与えます。下図に誤用例を示しますので、このような使用は禁止とします。

ロゴタイプ

シンボルロゴ



色の場所を変える



※「i」の色の順番を変える



色を変える



(Sub Color を使用)

※Sub Color をロゴマークにするのは使用不可

テキストの間隔を変える



何らかの修正を加える



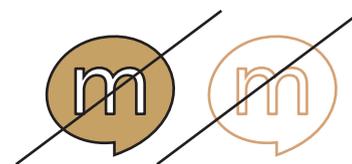
テキストの色を変える



変形する／傾ける



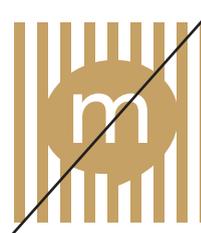
アウトライン化



ロゴタイプとシンボルロゴを組み合わせる(ロゴタイプとシンボルロゴは単独使用または、目的に合わせて離して使用)

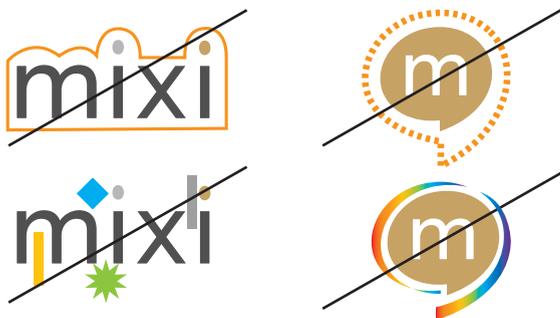


識別しにくい地色やパターン、写真の上に配置する

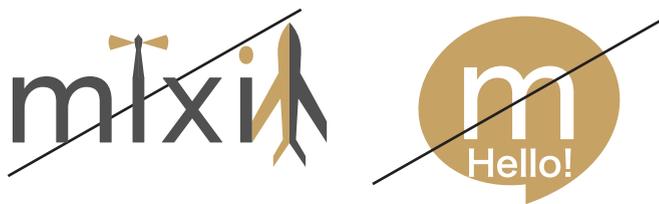


使用禁止例_02

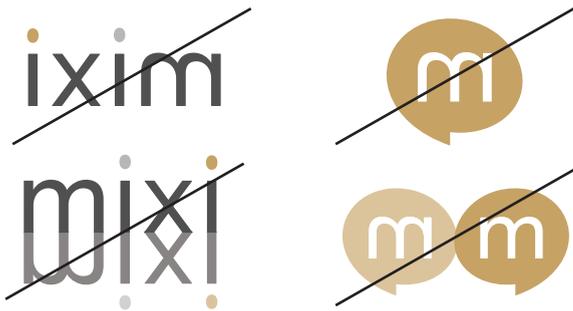
アイソレーション規定を守らず、他の要素を近づける



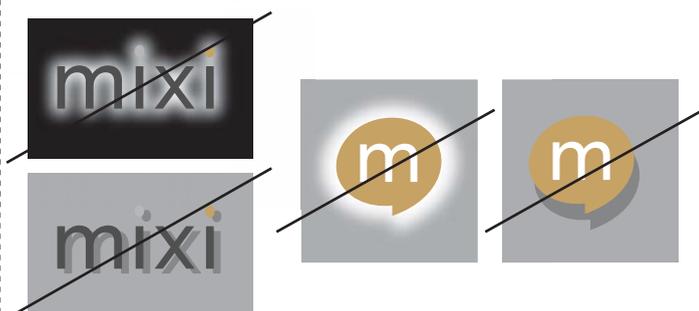
他のテキストやモチーフを付加する



鏡像使用する



ぼかしや、シャドウを付加する



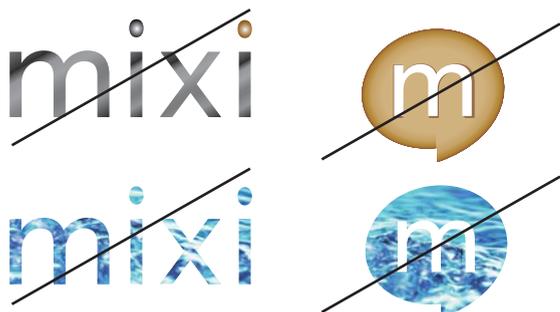
文章中に文字の置き換えとしてロゴタイプを使用する

2004年2月に提供を開始した『mixi』は、人と人とのつながりをベースとした招待制のソーシャル・ネットワーキング サービス(SNS)です。
『mixi』は、ユーザー数が1,500万人以上(2011年3月現在)を超える国内最大規模のSNSであり、コミュニケーションのインフラにまで成長を遂げています。

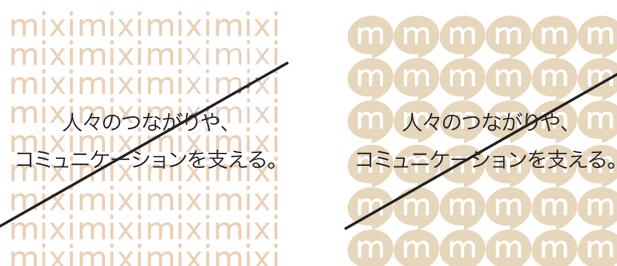
文字を別のフォントへ変える



マークにエンボス加工や、質感を付ける



ロゴタイプやシンボルロゴは模様として背景にはひかない



指定書体

指定書体は、『mixi』の伝達効果を高めるために、ロゴやロゴタイプと最も調和する現代的な書体を選定し、デザイン要素として位置づけたものです。

これらを可能なかぎり各視覚的コミュニケーションアイテムに使用することで、望ましい『mixi』のイメージ統一が図れます。

■ 指定書体

和文／ニューロダンファミリー

ニューロダン Pro L あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

ニューロダン Pro M あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

ニューロダン Pro DB あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

ニューロダン Pro B あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

ニューロダン Pro EB あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

ニューロダン Pro UB あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

和文／ロダンNTLG Proファミリー

ロダンNTLG Pro L あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

ロダンNTLG Pro M あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

ロダンNTLG Pro DB あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

ロダンNTLG Pro B あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

ロダンNTLG Pro EB あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

ロダンNTLG Pro EB あいうえお アイウエオ 安以宇衣於

英文・数字／Helvetica Neueファミリー

Helvetica Neue Thin ABCDEFGHI abcdefghi 01234

Helvetica Neue Regular ABCDEFGHI abcdefghi 01234

Helvetica Neue Bold ABCDEFGHI abcdefghi 01234

英文・数字／Myriad Proファミリー

Myriad Pro Regular ABCDEFGHI abcdefghi 01234

Myriad Pro Semibold ABCDEFGHI abcdefghi 01234